

令和5年度 第1回 大阪府環境放射線評価会議

令和6年8月

京都大学複合原子力科学研究所

令和5年度 放射線管理等概要

京都大学研究用原子炉(KUR)の排気口・排水口の放射性物質濃度 (Bq/cm³)

	放出口	放射性物質	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
期間 平均値	排気口	³ H	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD
		その他	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD
	排水口	³ H	2.4×10^{-1}	<LTD	3.6×10^{-1}	4.6×10^{-1}
		その他	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD
期間 最大値	排気口	³ H	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD
		⁴¹ Ar	<LTD	4.3×10^{-3}	7.9×10^{-3}	3.3×10^{-3}
		その他	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD
	排水口	³ H	3.8×10^{-1}	<LTD	3.6×10^{-1}	4.6×10^{-1}
		その他	<LTD	<LTD	<LTD	<LTD

LTD(検出限界濃度) KUR) ³H < 4.0×10^{-5} Bq/cm³, ⁴¹Ar < 2.0×10^{-3} Bq/cm³ (排気口)

³H < 2.0×10^{-1} Bq/cm³ (排水口)

表中の「その他」は、排気口においてはAr-41, Mn-54, Co-60, Cs-137, I-131, I-133とその他のγ線放出核種、全αおよび全βγ放射能を示す。排水口においてはCr-51, Mn-54, Fe-59, Co-58, Co-60, I-131, Cs-134, Cs-137とその他のγ線放出核種、全αおよび全βγ放射能を示す。Ar-41以外の核種の検出限界濃度は「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」(原子力委 昭和53年、原子力安全委 平成元年)に準拠した値である。